



International Day of Peace : 授業アイデア (簡単版)

国際平和デーをテーマにした英語の授業アイデア 2本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 平和の鐘の物語を英語で紹介しよう

中学・25分

🎯 数字（60か国、116キロ、1954年）を使って、日本と国連のつながりを英語で説明する。

1. 平和の鐘の写真を見せ、What is this made of? と問いかける。
2. 本文を読み、数字（60, 116, 1954）と事実をメモする。
3. This bell was made from ... It came from ... の形で3文の紹介文を書く。
4. ペアで発表し合い、最後に1分間の黙とうをする。

2. 「1日の停戦」に意味はあるか：ミニ・ディベート

高校・45分

🎯 具体例（アフガニスタンのワクチン）を根拠に、英語で賛否を論じる。

1. 国際平和デーの歴史と、2007～2008年のアフガニスタンの例を英語で読む。
2. 肯定（A one-day ceasefire is meaningful.）と否定に分かれ、理由を3つ書く。
3. 1分ずつ主張し、反論を1回ずつ行う。
4. ディベートのあと、自分の本当の意見を英語で3文書く。



1. 平和の鐘の物語を英語で紹介しよう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／25分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

数字（60か国、116キロ、1954年）と This bell was made from ... / It came from ... の形を使って、国連の平和の鐘と日本のつながりを英語3文で説明できる。

準備

- 国連本部の平和の鐘の写真
- 基本セット p.1（読解）：本文第1段落と第4段落
- 数字メモの表（60 / 116 / 1954 / 3 years）
- 基本セット p.3（マッチング：dove / bell / coin / world など）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	平和の鐘の写真を見せ、What is this made of? と問いかける。木・鉄・金など予想を出させてから、「世界のコインでできている」と予告し、9月21日の国際平和デーにニューヨークの国連で鳴らされる鐘だと伝える。	写真を見て、鐘が何でできているかを予想する。	“Look at this bell. Where is it?” “It's at the United Nations in New York.” “What is this made of? Guess!” “It rings every year on September 21.”
展開1	8	基本セット p.1 の本文第1段落と第4段落を音声で聞かせてから読ませ、数字と事実を表にメモさせる（60か国以上のコイン、116キロ、中川千代治が3年かけて集めた、メダルや銃弾も溶かした）。1954年に日本から国連に贈られたことは先生が補足する。	本文を読み、数字と事実を表にメモする。	“Read and find the numbers.” “How many countries gave coins? More than 60.” “How heavy is the bell? 116 kilograms.” “Who collected the coins? Chiyoji Nakagawa. It took three years.”
展開2	6	This bell was made from ... / It came from ... / It weighs ... などの型を示し、3文の紹介文を書かせる。数字を1つ以上入れることを条件にする。	型を使って、平和の鐘の紹介文を3文書く。	“Write three sentences about the bell.” “This bell was made from coins from more than 60 countries.” “It came from Japan.” “Use at least one number.”
まとめ	7	ペアで紹介文を発表し合い、よかった文を1つ全体で共有する。鐘には「世界絶対平和萬歳」の意味の言葉が刻まれていることを伝え、最後に全員で1分間の黙とうをする。	ペアで発表し合う。1分間の黙とうをする。	“Read your sentences to your partner.” “The bell says, long live world peace, in Japanese.” “Let's stand up and keep silent for one minute.”

板書例

International Day of Peace (September 21)

The Peace Bell 🕊

- coins from more than 60 countries
- 116 kilograms
- Chiyoji Nakagawa : 3 years
- 1954 : from Japan to the UN
- 「世界絶対平和萬歳」= long live world peace

This bell was made from ____.

It came from ____.

It weighs ____.

評価のポイント

- 本文から数字と事実を正しく読み取れたか。
- 型を使い、数字を入れて3文の紹介文を書けたか。
- ペアに向かって、相手に伝わる声で発表できたか。

つまづきへの手だて

- 数字の読み方（one hundred sixteen kilograms）は、先に全員で練習しておく。
- 書けない生徒には、型の空所に表の語を入れるだけでよいとする。
- 黙とうの意味がわからない生徒には、日本でも8月6日・9日に広島と長崎で平和を祈ることと結びつけて説明する。

発展

- アクティビティ集 B5（国くらべ）で、日本（8月6日・9日）やイギリス・カナダ（11月11日）の平和や追悼の日と比べる。
- For me, peace means ... を書く。
- 基本セット p.6 の迷路（ハトが世界に平和を運ぶ）をする。

使う教材

- 基本セット p.1（読解）
- 基本セット p.3（マッチング・穴埋め）
- アクティビティ集 B5（国くらべ）
- このサイトの英語ページの音声



2. 「1日の停戦」に意味はあるか：ミニ・ディベート

授業手順書（詳細版）／対象：高校／45分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

国際平和デーの歴史とアフガニスタンの例を英語で読み取り、具体例を根拠にして A one-day ceasefire is meaningful. について英語で賛否を論じられる。

準備

- 基本セット p.1（読解）：本文第2段落（1981年に開始、2001年に9月21日に固定、ceasefire の日に）と第3段落（2007年のアフガニスタンでのポリオワクチン、翌年の暴力的な攻撃70%減）
- 基本セット p.2（4択・True / False）
- ディベート用メモ（理由3つ・反論1つ）
- ふり返し用紙（自分の本当の意見を3文）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	Can one day really change anything? と板書して投げかけ、直感で Yes / No を挙手させる。ceasefire の意味を確かめる。	問いについて直感で Yes / No を選ぶ。ceasefire の意味を知る。	“Can one day really change anything?” “Raise your hand. Yes or no?” “A ceasefire is a time with no fighting.” “Let's read and think again.”
展開1	12	本文第2・第3段落を読み、年と数字を整理させる（1981年 国連が開始・最初は9月の第3火曜日、ジェレミー・ギリーの提案、2001年 9月21日に固定・停戦の日に、2007年 140万人の子どもにポリオワクチン、翌年 攻撃が70%減）。基本セット p.2 で内容を確認する。	本文を読み、年と数字を整理する。p.2 の問題に答える。	“When did the UN start this day? 1981.” “Why did the day move to September 21?” “What happened in Afghanistan in 2007?” “Health workers gave a polio vaccine to 1.4 million children.”
展開2	18	肯定（A one-day ceasefire is meaningful.）と否定に分け、各チームで理由を3つ英語で書かせる（7分）。肯定は本文の例を、否定は「1日だけでは根本的な解決にならない」などの観点を使う。1分ずつ主張し、1回ずつ反論させる。	チームで理由を3つ書き、1分で主張する。相手に1回反論する。	“Affirmative: A one-day ceasefire is meaningful.” “Negative: It is not meaningful.” “Write three reasons. Use facts from the text.” “One minute each. Then one rebuttal.”
まとめ	10	ディベートの役を離れ、自分の本当の意見を英語で3文書かせる（意見・理由・具体例）。何人かに読み上げてもらい、導入の挙手と比べて考えが変わったかを確認する。	自分の本当の意見を英語で3文書く。考えが変わったかをふり返る。	“Now forget your team.” “What do you really think? Write three sentences.” “Opinion, reason, and example.” “Did your answer change from the start?”

板書例

Can one day really change anything?

1981 UN started the day (the third Tuesday of September)
2001 moved to September 21 → a day for a ceasefire
2007 Afghanistan: polio vaccine for 1.4 million children
2008 violent attacks on that day fell by 70 percent

Motion: A one-day ceasefire is meaningful.

Affirmative / Negative

You said _____, but _____.

My opinion: I think _____ because _____. For example, _____.

評価のポイント

- 本文の年と数字を正しく読み取れたか。
- ディベートで本文の具体例を根拠として使えたか。
- 自分の意見を、意見・理由・具体例の3文で書けたか。

つまづきへの手だて

- 否定側で理由が出ないチームには、「1日で終わる」「守らない人もいる」などの観点を示す。
- 英語の反論が難しい生徒には、You said ..., but ... の型を読むだけでよいとする。
- 数字の読み方（1.4 million / 70 percent）は事前に確認する。

発展

- 平和の鐘の物語（本文第4段落）を読み、日本と国連のつながりを英語で説明する。
- アクティビティ集 B5（国くらべ）で、ほかの平和・追悼の日と比べる。
- To make my school more peaceful, I will ... を書く。

使う教材

- 基本セット p.1（読解）
- 基本セット p.2（4択・True / False）
- アクティビティ集 B5（国くらべ）
- このサイトの英語ページの音声